

菅刈小学校の取組 (1年目)

菅刈小学校では、「**自分も人も大切に
する児童の育成**」を研究主題に掲げ、教育活動に取り組んでいます。



「人権の花」運動や、月1回教員が輪番で人権について全校児童に語りかける「人権の話」、道徳科の授業研究などを通して、子どもたちの人権感覚を養う実践を進めています。



原町小学校の取組 (2年目)

原町小学校では、「**自分も相手も大切に
する児童の育成を目指して**」を研究主題に掲げ、教育活動に取り組んでいます。



総合的な学習の時間や道徳科、特別活動等、さまざまな学習活動を通して、子どもたちの人権感覚をはぐくんでいます。



大鳥中学校の取組 (1年目)

大鳥中学校では、「**く思いやりの心と他者理解を深め、社会に貢献できる生徒の育成**」～規範意識の高揚と確かな学力の向上～」を研究主題として掲げ、教育活動に取り組んでいます。



ボランティア活動等のさまざまな教育活動を通して、自分も友達も大切に
する生徒の育成に取り組んでいます。



緑ヶ丘小学校の取組 (2年目)

緑ヶ丘小学校では、「**自他を尊重し、ともに
高め合う児童の育成**」を研究主題に掲げ、教育活動に取り組んでいます。



縦割り班活動やふれあいタイム、幼保小の交流を活かして、自他のよさに気づき、自己肯定感を高め、相手を尊重する心をはぐくんでいます。



問い合わせ 教育指導課 ☎03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

体力は、諸活動の源であり、健康の保持増進のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わる「生きる力」を支える重要な要素です。そのため、本区では、健やかな体の育成を「めぐろ学校教育プラン」に掲げ、体力向上に向けた取組を推進しています。

令和4年度は、「Tokyoスポーツライフ推進指定地区(東京都教育委員会)」として、本区独自の取組の一層の充実を図っています。

目黒区の目標

コーディネーショントレーニング等を取り入れた活動を行うことにより、**幼児・児童・生徒の運動習慣の定着に資する取組のモデルを開発する。**

そのために

目黒区の取組

①「令和4年度Meguroスポーツライフ推進校」の設置

区立小学校5校(油面小、五本木小、鷹番小、月光原小、不動小)において、コーディネーショントレーニングを取り入れた授業を実施したり、子どもたちの体力向上に有効な教具を活用した取組モデルを開発したりします。

②コーディネーショントレーニング実技研修を実施

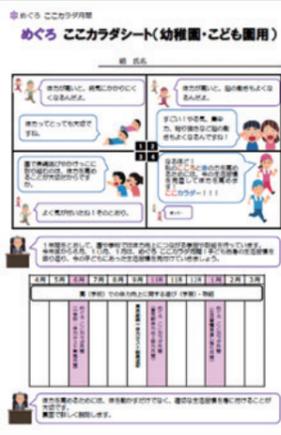
年4回、幼稚園・こども園、小・中学校の教員を対象とした実技研修を実施します。

③年3回の「めぐろ ここカラダ月間」を実施

幼稚園・こども園年長から中学校第3学年まで「めぐろ ここカラダシート」を活用しています。家庭チェック欄を設けて、保護者も取組を確認できるようにしています。



特定非営利活動法人 日本コーディネーショントレーニング協会講師による実技研修の様子



「めぐろ ここカラダシート」では、自身の健康3原則(運動、食事、睡眠)を振り返り、今後の生活習慣を見直します。

～コーディネーショントレーニングとは～

運動を早く学習できるようにするための「学ぶ力」を得ることを最大の目的としたトレーニングです。この「学ぶ力」が高まると、跳び箱や縄跳び・ダブルダッチなど、これまで何十回も繰り返身に付けていた技や新しく覚える技術が、数回の練習だけでできるようになります(特定非営利活動法人日本コーディネーショントレーニング協会HPから)。

問い合わせ 教育指導課 ☎03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

目黒区教育委員会では、令和3年2月に区立小・中学校の児童・生徒1人1台の学習用情報端末の整備を完了するとともに、「目黒区版 GIGAスクール構想イメージ」を掲げ、各学校においてICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を重ねながら学習活動を進めています。

碑小学校では児童の「学びに向かう力・思考力」を高めるためのICTの活用方法の研究と実践を積み重ね、令和4年12月2日(金)に研究発表を行います。

碑小学校 研究主題

子どもの「考えたい!」「伝えたい!」を引き出す算数の授業づくり

～学びに向かう力・思考力を高めるICTの効果的な活用～

ICTの活用方法(例)

子どもたち一人ひとりの学びを保障するツールとしての活用

学習用情報端末上でデジタル教材を用いることで、子どもたちが自ら図形を操作したり、グラフを作り直したりすることが容易にできる。一人ひとりが試行錯誤しやすくなることで、自らの学びを深めている。

学級全体への共有するツールとしての活用

学級で、個人の考えを比較・検討する際に、学習支援ツールを活用し、自分の考えを図示した画面やノートの写真を送り合ったり、スクリーンに投影したりして共有する。瞬時に全体で考えを共有することで、友達の考えから気づきを得たり、新しい自分の考えが生まれたりしやすくなっている。

学習用情報端末上で、図形やブロック等を操作したり、考えを書き込んだりします。学習用情報端末を手段として「いつでも」「どこでも」「だれとでも」という視点をもち、児童・生徒の学びをデザインしています。



学級一人ひとりの考えを一覧で見ること、個人の考えを共有したり、比較検討したりしやすくなり、交流が盛んになります。

問い合わせ 教育指導課 ☎03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

目黒区立図書館で中学生が職場体験

区立図書館では、中学生の職場体験を受け入れています。令和4年度は、5月から7月まで区立中学校7校29人の生徒が図書館の仕事で3日間体験しました。

職場体験では、返却された本を書架(本棚)に戻す仕事、予約のある本を書架から探す仕事、資料の展示、本の修理などを行います。

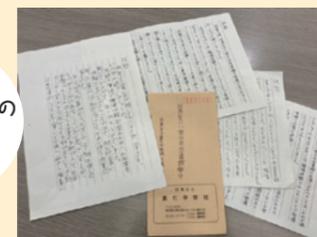
初日は緊張した様子ですが、だんだん笑顔も見られるようになり、3日目には仕事にも慣れてスピードも上がってきます。互いに協力して効率的に仕事を進める様子や、積極的、意欲的に取り組む姿が印象的でした。

終了後、生徒からは、「3日目には自分のやるべき仕事をできるようになった」「働く人の立場を体験することができた」「丁寧な技を必要とする修理作業が興味深かった」「自分が利用するときは当たり前だと思っていたことも見えないところや工夫があることがわかった」といったさまざまな感想をいただきました。

働く人と接して仕事を体験したことが将来の進路決定や職業選択を考えるきっかけになり、今後役に立つことを願っています。



蔵書はすべてていねいに



生徒さんからの
お礼の手紙

問い合わせ 八雲中央図書館 ☎03-5701-2795 FAX 03-5701-2794